

2015年09月09日

当院 NICU で人工呼吸器治療を受けられた患者さんへ

当院で行っている臨床研究についてのお知らせとお願い

課題名：気管チューブの予定外抜管が患児の成長発達とその予後に与える影響

◆研究の目的と概要◆

当院では、NICU 入院患者さんの気管チューブの計画外抜管を減らすことを目的に、気管チューブの計画外抜管を起こした患者さんを対象に、臨床研究を計画しています。
この研究では過去の診療録（カルテ）からの情報を利用します。

◆対象となる患者さん◆

2007年4月～2010年3月までの間に、当院 NICU 入院し人工呼吸器治療を行った患者さんで、気管チューブの計画外抜管を起こした患者さん。

◆研究に使用されるカルテ情報◆

出生週数、出生体重、入院期間、自己抜管時の修正週数、体重、挿管期間、気管吸引の間隔、口腔鼻腔吸引の間隔、自己抜管が発生した時刻、体位、同一患者の挿管中の自己抜管の回数、疾患名、鎮静の有無、首元タオルの有無、固定テープの状況、入眠～覚醒する状態、レントゲン所見、心拍数、SpO₂ 値、自己抜管後の対応、発見から再挿管するまでの時間、胸骨圧迫の有無、薬物投与の有無、2回以上自己抜管した患者の予後、自己抜管時自らの体位変換の有無、6歳時点での発達状況

- * 患者さん個人が特定されるような情報は一切公表されません
- * この研究は、倉敷中央病院 医の倫理委員会の承認を得て行っています。
- * この研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用を希望されない方は、以下の問い合わせ先までご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

NICU 研究責任者 高郷 真希

TEL：086-422-0210（代表）、 FAX：086-421-3424（代表）